



園だより

第1号

平成30年4月9日
駿河台大学第一幼稚園
園長 田所 恒子

どきどき わくわく 春がきた

保護者の皆様、お子様のご入園・ご進級おめでとうございます。

年少児62名、年中児2名、年長児2名の新入園児の皆様をお迎えし、平成30年度駿河台大学第一幼稚園は、園児172名と共にスタートいたします。これから始まるお子様たちとの幼稚園生活はどんなものとなるのでしょうか。どきどき わくわくします。

本園の教育理念は「愛情教育」です。お子様一人ひとりの歩幅で様々なことにどきどき わくわくしながら主体的に取り組み、個性や持ち味を伸ばせるよう教職員が一丸となり愛情をもって教育に当たってまいります。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、今年は例年になく春の訪れが早く、春期休業日の間に園庭の様子がすっかり変わってしまいました。年少組が植えたチューリップは、春期休業中の暖かい日差しの中で次々と花を咲かせました。教職員は「年中組になった子どもたちに見せたい！お願いだから始業式までもっていて！」と、どきどき わくわくしながらチューリップに話し掛けてきました。そのためでしょうか、花は始業式までもちこたえてくれました。

年中組が植え、毎日芽が出ないかと楽しみにしていたジャガイモは、三学期終業式の日によりやく小さな芽を出しました。その芽がぐんぐん大きくなり力強い緑色の葉を付けました。「見る度に大きくなっている！子どもたちが見たらびっくりしますね！」と、どきどき わくわくしながら、お子様たちとの幼稚園生活を楽しみにしている教職員がいます。年長組になったお子様たちは、先生や友達と一緒にジャガイモを育て、収穫し、そして食するという様々な体験をし、たくさんのことを学んでいくことでしょう。そんなことを考えると私もどきどき わくわくしてきます。

また、春期休業中に工事をし、保育の環境を広げました。一つ目は、砂場と土山を作りました。砂場は5月から始まる未就園児のプレ保育ちゅーりっぷ組が使用するために作りましたが、空いている時には在園児も使用します。ロバート・フルガムが「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」というほど砂場はお子様たちの成長に重要な環境です。本園の砂場遊びがより豊かになります。小さな土山ですが土に触れる機会ももてます。二つ目は、もも組保育室を区切り保育室を作りました。ちゅーりっぷ組の保育に使用しますが、普段は絵本の部屋として活用します。良い絵本を選び常設して楽しめるようにしていきます。お子様たちがより絵本に親しむ機会が増えることにつながると、今からどきどき わくわくしています。

さらに、今年度より、このように心揺さぶられるお子様たちとの幼稚園生活を保護者の皆様と共有していきたいと「園だより」の内容を改善いたしました。また、担任がどきどき わくわく心揺さぶられた出来事を「学級だより」でお伝えいたします。保護者の皆様のどきどき わくわくも、降園時、連絡帳、コドモンなどを通して、是非担任にお聞かせください。お子様の健やかな育ちのために、幼稚園と保護者の皆様が車の両輪のように手を携えてまいりたいと思います。

ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。



年少組の時に植えたチューリップが綺麗に咲きました。



何個のジャガイモが収穫できるでしょう。楽しみです。



遊戯室とゆり組の間の空き地に土山と砂場が出来ました。



絵本の部屋とちゅーりっぷ組の保育室が出来ました。